

〈連載〉

徒然文生噺

イラスト：山本悠、構成：服部円

第二段 「ままならない試み」

『文化と生物』というお題をもとに有識者が徒然なるままに寄稿する本連載。

今回はファッション研究者の藤嶋陽子さんと農学博士でイラストレーターの木下千尋さんに寄稿してもらった。

それぞれの厄介な身体

藤嶋陽子（ファッション研究者）

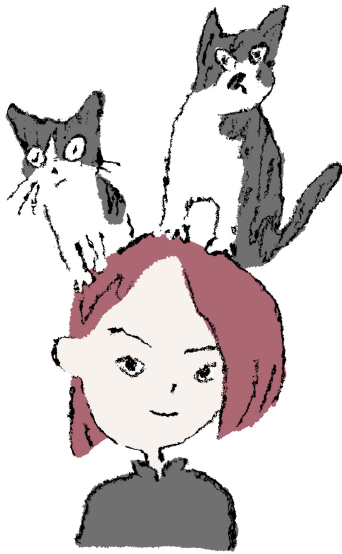
幼少の頃、面倒くさがりな私は、当時飼っていた柴犬を眺めながら「歯磨きをしないで済んでいいよなあ」とぼやいていた。それから数十年、流石に歯磨きに抵抗はなくなったが、それ以上に手入れの必要な身体になっている。眉毛や睫毛にパーマをかけ、毎月ネイルサロンに通い、爪は自分では切れないものになった。このことを社会に強いられた「しんどさ」だというのも理解できるけれど、好きでやっていると少なくとも今は思っているし、無頓着になったら健康やらマナーやら清潔感やら、身体から気を逸らさないための色々な言葉が用意されている。

ということ、犬のトリミング動画を毛繕いする飼い猫の横で視聴しながら考えていた。手入れが施されなくなると毛玉だらけで肌が傷つく犬たち。生まれてから一度も入浴をしないのにメープルシロップの匂いのする我が家の猫たち。不平等だ、と嘆こうにもどうしようもない。お手入れと化粧、健康の維持と装飾、その境界は曖昧なもので「自然」の範囲なんて明確に定義できるものでもない。私は暴れる飼い猫の爪を切り、私はネイルサロンで爪を切られる。あらゆる身体はそれぞれ、それなりに厄介なわけだ。

行き来することで得られるやすらぎ

木下千尋（農学博士・イラストレーター）

研究者兼イラストレーターという、よく分からない立ち位置で仕事をしていた。幼少期、近所には良い川があり、そこで捕まえた生き物を飼ったりすることで、生き物とはすぐに友達になった。また、両親が共働きで夜遅くまでかまってもらえず、絵日記でコミュニケーションをとっていたことでイラストとも友達になった。こんな子供が大人になったのが今の自分である。大学で海洋生物学を学びながら、デザイン事務所でもアルバイトをして、2つの異なる世界の間で遊んだ。研究と芸術の世界は似ている。新しい価値観や考え方、やり方を発見し、世に発信する。それが学術論文なのか芸術作品なのかという違いだけのような気がする。その人の過去の経験にも左右されるし、1つ選択を変えると全く異なるものができる所も似ている。研究で行き詰ってしまった時、イラストを描くことで研究を客観視でき、解決策が見つかることがある。逆もしかり。全然違うとされている分野を行き来するたのしみがあり、やすらぎもあるような気がする。最近、イラストレーター業に専念することにした。しかし、これからも調査の補助などで研究に関わり続ける気がしてならない。



藤嶋陽子（ふじしま・ようこ）

ファッション研究者。東京大学大学院学際情報学府博士課程満期退学。ZOZO 研究所リサーチサイエンティストを経て、2022 年より Synflux に参画。立命館大学産業社会学部准教授、理化学研究所革新知能統合研究センター客員研究員。編著に『クリティカル・ワード ファッションスタディーズ』（フィルムアート社）など。

<https://twitter.com/fjkdiet>



木下千尋（きのした・ちひろ）

博士（農学）。岡山県出身。ウミガメや海鳥などの、海洋生物の行動や生理に興味がある。2023 年に研究職を辞め、イラスト業に専念する。近著に『たくさんのふしぎ 2022 年 11 月号』（福音館書店）、『生きもの「なんで？」行動ノート』（SBクリエイティブ）など。移住先を考え中。

<https://twitter.com/chimomonga>

服部メモ

15 年ほどファッション誌の編集者をしていた身からすると、ファッションほど研究に向かない分野はないのではと思う。研究するにはあまりに速度が早く、また産業としても生産から販売、消費など広域に及ぶ。藤嶋さんは日本では育ちにくいといわれてきたファッション研究の世界で、使命感を持って研究している。彼女のファッション研究が今後どのように発展していくか期待している。

生き物を観察し、描写する。生物学にとって絵を描くことはとても身近だ。また絵を描くためにはその対象についての理解、例えば筋肉の構造や色の構造にも目を向ける必要がある。サイエンスイラストレーターに理学部出身者が多いことから生き物を描くには正確な知識が必要な理由がわかるだろう。ウミガメの生態を研究していた木下さんが、本格的にイラストに専念すると聞いて驚いた。研究者としてのキャリアを捨てるにはあまりに惜しいのではないか。しかし同時に、生き物に対する真摯なまなごしをもった木下さんのイラストが世界に増えていくことが嬉しい。